

2014 in琵琶湖

ちぎんの会 第3回 総会

全国から80名が集う

年金者部会ニュース

滋賀銀行
従業員組合
年金者部会
TEL077-521-2775
FAX077-525-5232



10月16日・17日、大津市雄琴の琵琶湖グランドホテルにおいて「ちぎんの会」第3回総会が開かれました。総会には北は青森から、南は大分まで各地から80名が参加。旧交を温め、元気をいただく有意義な総会となりました。

総会は16日午後3時半より谷一明さんの司会で開会しました。

最初に和田一郎ちぎんの会会長は、「ようこそ滋賀県近江へお越し下さいました。」

北は青森から南は大分まで、このように大勢の仲間が、ここ琵琶湖の一角に集いました。振り返れば、今から49年前の昭和40年11月8日に滋賀銀行従業員組合は、組織攻撃を受



開会の挨拶する和田一郎会長

け、組合が二つに分裂させられました。

その時多くの地銀のなかまが支援に駆けつけ励ましてくれて、少数組合にされながら、統一と団結を守って闘うことが出来ました。まさに人生、青春をかけて闘いました。

あの当時の情勢は、国づくり、人づくり、金づくりという政策のもとに闘う労働組合が攻撃されました。国づくりで建設労働者の全建労、人づくりで先生の組織の日教組が、そして金づくりで金融労働者の中心的存在の地銀連に凄ましい攻撃をかけてきました。励

まし、励まされた、あの当時の“なかま”が今日はいんな青年男女に戻って思い出話を大きく咲かせて下さい。

そして、これからは、健康に留意しながら、なかま

の交流を深めて、少しでも世直しの闘いのお手伝いのできたらと思います。」と開会と歓迎の挨拶を行いました。

議事に入り、八戸警務局長が前回以降の本部活動報告、決算報告を行い、続いて参加各団体の代表が活動報告を北から順次行いました。

次回総会について事務局から提案があり、2年後に開くこと。場所は新役員会に一任することを承認しました。

最後に、役員改選を行い、会長に 小野昌一郎さん(七十七OB会) 副会長に 吉田千年さん(岩銀OB会) 古田雅二さん(しがの会) 会計監査に 高橋律雄さん(池田泉州年金者部会) を選任しました。

総会は、記念講演に移り、川端俊英さん(同朋大名誉教授)が「若き日の島崎藤村と近江」を「うらへー

テーマに講演を受けました。川端先生は22歳の若き島崎藤村が蒲生郡や大津市の石山寺近辺に居住し、長編小説「春」の題

銀行労働者の誇りを胸に生きた人生を語り合った

交流会

材となるなど、近江との関わりを講演しました。総会は17時30分開会しました。

地銀連の旗の下、銀行労働者の生活と権利を守るため助け合い、励まし合い、共に闘った青年男女に戻っての交流会は、午後6時30分より仰木太鼓の勇壮な太鼓の音で幕が開きました。

続いて「しがの会」の最高齢者、日根野昭三さんが乾杯の音頭をとり、再会を祝しました。

司会は澤井正さん、団体ごとに参加者全員の紹介。30名が参加した「しがの会」は、



交流会オープニングの仰木太鼓

自席に立ち澤井さんが一人ひとりを紹介。「しが」の参加者を代表して従組の中島委員



団体の幟を掲げる青銀OB会



菅原会長先頭に11名参加の七十七

長が挨拶。野添正一さんの詩吟、坂下祥子さんが舞踊を披露。参加者は、カラオケで自慢ののどを披露しあい、楽しい時間を過ごしました。最後に「地銀連の歌」と「琵琶湖周航の歌」を全員が輪になって合唱し交流会は終わりました。その後も各部署で交流は続きました。

参加者の最高齢者 八十六歳が4人

参加者の最高齢者は、昭和3年生まれ86歳で4名もいらっしやいました。みなさんお元気でした。

- 菅原昭三さん (七十七)
 - 諸星宏一さん (書記局)
 - 御嶽友一さん (書記局)
 - 日根野昭三さん (しが)
- いつまでもお元気で



全員輪になって地銀連の歌を合唱

第二日 バスで三井寺から大津港「ミシガン」へ

第2日目は、宿舎からバスで大津市の古跡を訪ね車窓観光をして三井寺へ。窓に流れる古跡や社寺の説明は、倉見栄一さん、古田雅二さんが担当しました。

三井寺では、地元の観光ボランティアさんの案内で3班にわかれて1時間半ゆつくりと境内を歩きました。他県からの参加者は、「一度訪ねたことがあるが、ゆつたりと説明を聞きゆつくりと歩いてよかった」と好評でした。

昼食は、大津港から琵琶湖湖上のミシガンでバイキング。船の2階を借り切って参加者は、湖上から秋盛りの琵琶湖湖岸の風景を楽しみました。再び大津港に戻り、バスで車窓観光して京都駅で解散しました。



全国の仲間を待つ受付係



今回総会を滋賀で開催するにあたり、池田泉州従組年金者部会、大銀従組OB会、ちぎんしがの会の世話人が地元実行委員会を結成、準備、当日の運営に当たりました。皆さま大変ご苦労さまでした